

講座テーマ「人間社会とコミュニケーション」

テーマの概要（特徴） コミュニケーションの基本構造から、言語コミュニケーションの特徴、異文化間コミュニケーションの意義と役割までを各回に説明する。

回	形式	講義題目	内 容
1	(ネット配信による) 講義	コミュニケーションの基本 (角 和博)	人間社会の基盤である人間コミュニケーションを中心に、コミュニケーションの定義、意義、役割、種類、階層等について概説する。とくに対人コミュニケーションについては、その基本的なとらえ方や考え方を説明する。またコミュニケーションという言葉が、多意義に、また多機能に用いられることから、機能ごとの整理、分類を試みた。
2	(ネット配信による) 講義	人間のコミュニケーション (大元 誠)	人間のコミュニケーションの特質について述べ、日本文化と欧米文化のコミュニケーションの違いについて述べる。さらに具体的に人生初期の親子関係(アタッチメント)を例に解説する。
3	(ネット配信による) 講義	手と手を繋ぐ異文化コミュニケーション (早瀬 博範)	自らの社会体験、いわゆる直接参与法的手法にもとづき、日米間のカルチャー・ギャップを人間コミュニケーションの視点で捉える。とくに米国のインディアナ州におけるコミュニティづくりを事例にして、日本との比較社会・文化論的な考察を試みた。その考察を通して、異文化交流におけるコミュニケーションの意義について考える。
4	(ネット配信による) 講義	言語コミュニケーション (田中 彰一)	人間社会における「言語コミュニケーション」の基本的な事項を確認します。具体的には以下の内容を順におさえていきます。1. ことばによる情報伝達のしくみ 2. ことばのもつ構造 3. ことばの喩える機能 4. ことばのもつ発想と文化による表現の違い 5. ことばにおける敬意の表し方 の5項目になります。表現例に基づいて、わかりやすく概説しています。
5	(ネット配信による) 講義	コミュニティーコミュニケーション (田中 豊治)	新しい時代におけるコミュニティのあり方を、「市民セクター」(市民主体)の台頭と役割という視点から考察し、そのセクターを中心にした行政・企業・市民団体・NPO・専門家あるいは市民個人などを緩やかにつなぐコミュニケーションの取り方や新しいまちづくり協働システムのあり方について検討する。
6	(ネット配信による) 講義	市民社会のコミュニケーション (佐長 健司)	政治的な側面からみると、市民社会は民主主義社会である。民主主義社会は、政治的な決定に誰もが参加することが望ましいとする社会である。政治的な決定は、公共の問題について決定することで、議論を方法とする。したがって、市民社会においてはコミュニケーションとしての議論を欠くことができず、市民にはその力が求められる。
	対面	修了認定試験	まとめ・筆記試験(60分)